

# 豊かな伊吹山の麓、自然の恵みと癒しの空間



岐阜県指定天然記念物  
「君が代」に詠まれている

## さざれ石



かすが  
もりもり村

リフレッシュ館



- マイカーご利用の場合
  - 関ヶ原I.C. 国道21号
  - 大垣I.C. 国道258号 大垣市 国道417号 揖斐川町 県道32号 春日村
  - 岐阜市 国道303号
- 公共交通機関ご利用の場合
  - JR東海本線 (約20分) 名古屋駅 → 岐阜駅 → 大垣駅 → 揖斐駅 → 春日村
  - JR東海新幹線 (約25分) 岐阜羽島駅 → 大垣駅 → 揖斐駅 → 春日村
  - 養老鉄道 (約25分) 養老駅 → 春日村
  - 奥美濃コミュニティバス (春日線) (約25分) 春日村
  - JR東海新幹線 (近鉄バス (約30分)) 春日村

# 伊吹山の麓、悠久の時間と自然が創造した

## ■国歌

「君が代」に詠まれている

# さがれる

## 岐阜県天然記念物

さがれ石は、日本の七高山、伊吹山のふもとにあり、学名を石灰質角礫岩と言う。これは石灰石が長い年月の間に、雨水で溶解され、そのときに生じた粘着力の強い乳状液（鍾乳石と同質）が次第に小石を凝結して、だんだん巨岩となり、河川の侵蝕作用により地表に露出し、苔むしたものです。

★昭和52年3月18日、春日村天然記念物に指定、同年11月18日、岐阜県の天然記念物に指定されました。

## 伊吹山と【さ】【ざ】【れ】【石】

伊吹山（海拔1377m）は、岐阜、滋賀両県境にあって、地質の概略は広範囲に分布する中部二畳紀層（地質時代、上、古生代の最後、2億7,000年前から2億2,000年前までの時代、動物では両生類の全盛期、テルム紀）と伊吹山石灰岩層に大別されます。

石灰岩は白色から灰白色で、これに含まれているフズリナ〔紡錘虫〕の化石から、その地質時代は初期二畳紀後半から後期二畳紀前半におよび、花崗石などが貫入した影響を受けて、再結晶をした石灰石やドロマイト化しているものが多い。この地帯からは自然に凝結した「さがれ石」が多数みられます。

## 【さ】【ざ】【れ】【石】と

## 郷土の伝承

この石にまつわる郷土の伝承として、平安朝時代、文徳天皇（在位850～858年）の皇子惟喬親王は椀生地（トチ・ブナ等を伐ってロクロその他の工作器具で椀・盆・杓子などの木地を製作する人。当時の重要産業）を司る役目だった。藤原朝臣石位左衛門はこの惟喬親王に仕えていた。

親王は当時江州の君ヶ畑（現在滋賀県東近江市君ヶ畑）に住んでいた。石位左衛門は親王の命を受けて、江州から伊吹山を経て美濃（岐阜県）の春日谷に渡り、椀生地に用いる木材をさがし求め、春日谷の奥地一帯にその良材を発見し、一族と共にここに移り住んだ。そして江州「君ヶ畑」の名に因んで、その地「君ヶ畑」と呼び、椀生地を生業とした。現在小宮神地区に遺跡や、系図などもあり、その一族90余戸が現存している。

石位左衛門は、春日谷から近江の君ヶ畑や京都へ行き来する際、古屋笹又と言う地区の谷間で、溪流に露出する「さがれ石」を見て「これは珍しい石、目出度い石である」と見たまま、感じたままを、詠んで奉った歌が

わが君は千代に八千代にさがれ石の巖となりて苔のむすまで

の一首である

都では「見かけぬめずらしい石であり、かつまた秀歌である」として、その歌を『古今和歌集』（巻七）賀歌に採録されることになったが、当時、石位左衛門は身分が低かったので、よみ人知らずとして発表され後に、この歌によって位を賜った。すなわち、石に関連があるので石位左衛門と改名したのである。

石位左衛門という名前は古来余りその類例を見ない独特の名前であり、藤原一族の男子元服の節に申し渡しの儀式が行われ、長老の者より先祖の由来の申し渡しを受けて代々これを受けついで来た。その申し渡しに「先祖の石位左衛門は歌詠みで、朝廷から歌によって位を賜った」と伝えられている。

## お問い合わせ

〒503-2502 岐阜県揖斐郡揖斐川町春日六合3080 春日振興事務所・日本さがれ石の会事務局  
TEL<0585>57-2111(代) FAX<0585>58-3402